

## 次号予告

### 特集 大規模災害時における災害レジリエンス評価研究

危機管理と災害レジリエンス	加藤健 (防衛大学校)
突発的水蒸気噴火の危険とその防護対策例	山田浩之 (防衛大学校), 立山耕平 (立命館大学)
大規模災害のリスクと評価例—竜巻飛来物—	別府万寿博・市野宏嘉 (防衛大学校)
大規模災害のリスクと評価例—爆破テロ—	市野宏嘉・別府万寿博 (防衛大学校)
大規模土石流災害の評価	堀口俊行 (防衛大学校)
3次元人流シミュレーションによる広域避難計画の評価に関する試み	
	岩切宗利・宮崎裕輔・竹之上典昭・加藤健 (防衛大学校)
災害レジリエンスとオペレーションズ・リサーチ	鶴飼孝盛・坂口有輝・岩切宗利 (防衛大学校)

### メンバーリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメンバーリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.orsj.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

### 編集後記

●本号では、最近の企業事例の特集号として、企業でのORによる取り組み、改善事例が多数紹介されています。そこで使われている手法も、高度なものから身近なものまでさまざま、ORの有用性について再認識させられました。改めて、執筆いただいた皆様には感謝いたします。

●さて、コロナ禍が長期化するなかで、企業への影響が表面化してきているようです。とある記事によると、上場企業の2021年3月期決算では、二極化が鮮明になっているとのこと。「巣ごもり」や「テレワーク」需要を取り込んだ業界では過去最高益となった企業がある一方で、移動自粛、時短営業などの影響を受けた業界では、赤字に陥った企業が続出したようです。筆者自身は後者の関係者と話をすることが多いのですが、

各社がコロナ前には到底想像もできなかった事態に陥っており、その影響の深刻さを身に染みて感じています。

●一方で、業界内で最近耳にするのが、事業の抜本の見直しと並行して、既存事業の「効率化」、「省力化」、「低コスト化」をこれまでとは異なるスピードで進めたいとのこと。言うまでもなく、これらはORが最も得意とする領域の一つではないかと思えます。コロナでマイナスの影響を受けた業界も多いですが、このような危機に瀕している業界、企業にこそ、ORを有用なツールとして活用できるのではないかと思います。本号で紹介されているような企業事例が、今後、より多くの業界で見られることを期待したいです。

(加藤 怜)

### オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長	野々部 宏司 (法政大学)
特集担当編集委員	加藤 怜 (公益財団法人鉄道総合技術研究所)
委員	朝日 弓未 (東京理科大学), 伊豆永 洋一 (九州大学), 井床 利生 (IBM基礎研究所), 井家 敦 (神奈川工科大学), 鶴飼 孝盛 (防衛大学校), 梅谷 俊治 (大阪大学), 大竹 恒平 (東海大学), 小林 隆史 (立正大学), 佐久間 大 (防衛大学校), 笹谷 俊徳 (東京ガス株式会社), 猿渡 康文 (筑波大学), 高野 祐一 (筑波大学), 生田目 崇 (中央大学), 蓮池 隆 (早稲田大学), 原田 耕平 (株式会社NTTデータ数理システム), 山本 零 (慶應義塾大学), 吉田 琢史 (株式会社東芝)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

令和3年7月号 第66巻 第7号 通巻727号

代表者 田口 東

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 野々部 宏司

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。

・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。